

紀南10団体 成果発表



発表順 (紀南)

発表者の方はスクリーン
向かって右手にお並びく
ださい

1. 田辺市
2. 新宮市
3. 白浜町
4. 上富田町
5. すさみ町
6. 那智勝浦町
7. 太地町
8. 古座川町
9. 北山村
10. 串本町

1. 田辺市

R6年度DXの取り組みと成果

- ①新庁舎移転に伴う環境改善
- ②DX塾提案の事業化
- ③デジタル人材育成

新庁舎移転に伴い庁内Wi-Fi化などを実施し、ハード面でDXを推進するための整備を行った。また、R4から実施している若手職員育成事業であるDX塾からの提案を事業化するとともに、デジタル人材育成の一環として資格取得助成制度を開始した。



よろず相談を活用した取り組みと成果（上記と対応）



- ①先進地事例共有や自治体交流
- ②新庁舎で地域別よろず相談を開催



次年度の取り組み予定

- ①「書かない」「待たない」「迷わない」窓口
- ②WorkplaceInnovation（働き方改革）
- ③デジタル人材育成への道

R5から実施している窓口BPRを通じて、窓口サービスの再デザインを行うことや、全庁で活用しているグループウェア等の更新に併せて職員の環境を整備し、Well-beingな働き方を目指す。



Well-beingな窓口



Well-beingな働き方

DX人材育成研修
田辺市DX塾

人材育成でWell-being

2. 新宮市

※オンライン

R6年度DXの取り組みと成果

- ①「書かない窓口」着手
- ②職員向けのDX研修を2回実施
- ③オープンデータカタログサイト開設予定
- ④パソコン貸出予約を電子申請に移行

今年度は、電子申請（LoGoフォーム）やデータの利活用を推進する基盤を整備しました。また職員向けDX研修を2回実施するなど全庁的なDXに対する意識向上を図りました。

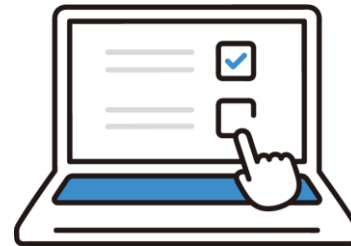


職員DX研修の様子

よろず相談を活用した取り組みと成果（上記と対応）



・年度内にオープンデータ公開を目指しています。



・1月からパソコン予約を電話から電子申請に移行

次年度の取り組み予定

- ① 「書かない窓口」の実現
- ② 電子決済の活用
- ③ オープンデータの推進

「書かない窓口」「手数料等の電子決済」を実現して住民サービスの向上を目指します。
また、オープンデータの公開に力を入れていきます。



マイナンバーカードから4情報を読み取り帳票を印字

・ 電子決済の活用



LoGoフォームの決済機能を活用して手数料や利用料等をオンラインで支払い可能に

・ オープンデータの推進 (BODIK)



今年度開設したカタログサイトを活用できるようオープンデータの公開を推進

3. 白浜町

※オンライン

R6年度DXの取り組みと成果

- ①連絡ツールの導入（職員間・拠点間）
- ②RPA活用に関する取り組み実施
- ③耐災害ネットワーク実装整備

今年度は、各部署で独自に推進しているDXに関する業務をサポートしつつ、方向性の定まっていない分野についてよろず相談を活用し、方向性を示すことで取り組みを支援し、達成率の向上及び成果に繋がりました。



耐災害ネットワーク

主要観光地・公共施設

よろず相談を活用した取り組みと成果

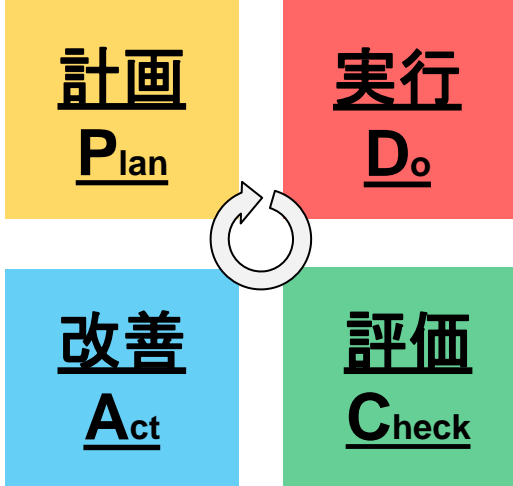


- ①連絡ツールの検証・導入 → 令和7年度予算化（仮）
- ②RPAの導入 → 今後の対象業務及び活用方法の検証（地域活性化起業人）

次年度の取り組み予定

- ①電子決裁・勤怠管理システム等導入への取り組み
- ②生成A Iの業務利用
- ③同意管理による情報でマーケティング

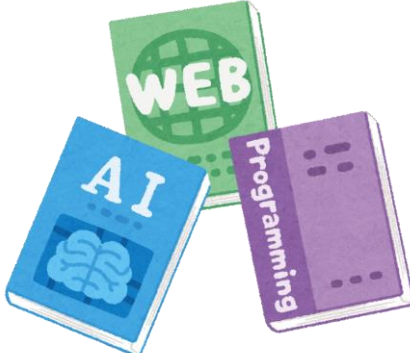
白浜町



今までは、全体の事務に関わる業務改善に課題がありました。次年度はその課題の解消に各部署で連携して取り組む予定です。



電子決裁・勤怠管理システム導入で効率良く



生成A Iをより簡単に



同意管理システムによる情報収集
同意を頂いた利用者へのリコメンドメール
(関係人口の創出・拡大)

4. 上富田町

R6年度DXの取り組みと成果

- ①電子決裁システムの導入
- ②アナログBPRに取り組んだ
- ③窓口体験調査を実施

書かないワンストップ窓口の実現に向けて視察やアナログBPRに取り組みました。また、昨年度に引き続き窓口体験調査を実施する等、職員への啓発に努めました。



よろず相談を活用した取り組みと成果

- ①上富田町DX推進委員がよろず相談に参加し、課題解決に向けて取り組んだ。
- ②BPRや電子申請の充実に繋がった（進行中）

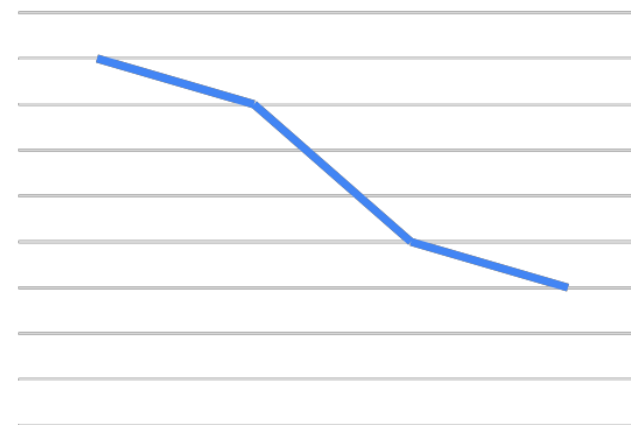
次年度の取り組み予定

- ①ペーパーレスの推進
- ②電子申請の充実
- ③グループアドレスの試行

電子決裁の運用開始により、ペーパーレスを更に推し進めます。紙からデジタル主体の事務作業に移行することで、グループアドレスに向けたパイロットオフィスを計画。



窓口体験調査



紙使用枚数の削減

5. すさみ町

R6年度DXの取り組みと成果

- ①新庁舎建設に伴うDX推進基盤整備検討
- ②新たな環境における働き方や組織のあり方検討
- ③防災DX、医療行政MaaSの取り組み

令和8年度の庁舎移転に合わせDX推進の基盤となる新たなネットワーク環境の構築や機構改革の検討に取り組んでいる。

また、住民向けのDXの取り組みとしてドローンを活用した防災DXや医療行政MaaS車両の導入を実施した。



よろず相談を活用した取り組みと成果（上記と対応）

- ①アドバイザー紹介、アドバイザー制度紹介
- ②各種取り組みのアウトプット
- ③県内市町村担当者等とのつながり



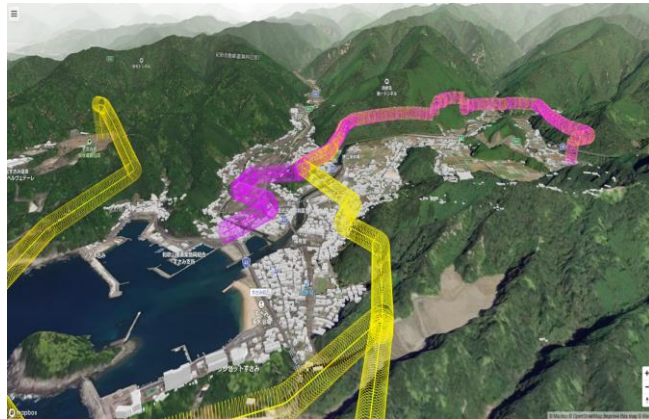
次年度の取り組み予定

すさみ町

- ① 新庁舎建設に伴うDX推進基盤整備
- ② 新たな環境における働き方や組織のあり方検討
- ③ 防災DX、医療行政MaaSの取り組み

令和6年度のDX構想・検討内容を更に具体化し次のステップへ
 庁舎移転、組織改編等の改革の機運醸成を進め取り組みを強化
 防災DX、医療行政MaaSの取り組み拡大、実践へ

イメージバス | 鳥瞰



ドローン実証実験

2024年(令和6年)12月20日(金曜日) 豊前 豊前市 豊前市

行政サービス車 発進

すさみ町 過疎・高齢地域向け導入

すさみ町の過疎化率は47.7%と県内でもトップレベルで、高齢化率も70.5%と県内でもトップレベルです。行政サービス車の導入は、高齢者や過疎地域へのサービス向上を図るため、全国では豊前市や秋田県由利本荘市など自治体が進めているが、和歌山県内では初めて。

移動投票所など検討

すさみ町の過疎化率は47.7%と県内でもトップレベルで、高齢化率も70.5%と県内でもトップレベルです。行政サービス車の導入は、高齢者や過疎地域へのサービス向上を図るため、全国では豊前市や秋田県由利本荘市など自治体が進めているが、和歌山県内では初めて。

高野町でも来月

高野町も来月1月からは、行政サービス車を導入する。高野町は中心部の高野山に人口が集中し、町内全域にサービスを提供することが難しいとされている。行政サービス車の導入は、高齢者や過疎地域へのサービス向上を図るため、全国では豊前市や秋田県由利本荘市など自治体が進めているが、和歌山県内では初めて。

すさみ町では、行政サービス車を導入し、高齢者や過疎地域へのサービス向上を図る。また、移動投票所などの検討も進めている。

医療行政MaaS



6. 那智勝浦町

《 R6年度DXの取り組みと成果 》

- ① LoGoフォームでオンライン申請可能に
- ② ペーパーレス会議システム導入
- ③ コンビニ交付開始

今年度から、電子申請システム「LoGoフォーム」を導入し、合計63個（※令和7年2月20日時点）のフォームを実装。また、タブレットPCを18台配備するとともに、ペーパーレス会議システムを新規導入し、予算査定の際にも活用。加えて、令和7年1月27日より、コンビニ交付サービスを開始した。

LoGoフォーム



【 よろず相談を活用した取り組み 】

サービスデザイン研修「ユーザー本位なDX」

「ユーザー本位の実現」というサービスの本質を意識することを習慣化するために、対象ユーザーのニーズを様々な観点から考え、ユーザー像を設定して理想のサービスをデザインするグループワークを実施した。

《 次年度の取り組み予定 》

- ① キャッシュレス化推進
- ② 窓口改革
- ③ 電子申請の拡充

来年の目玉事業は、「キャッシュレス化推進」です。POS機能搭載の決済端末で、キャッシュレス決済及び現金の商品毎の売上を一元管理可能で、全ての決済状況のデータをCSVやExcel形式でダウンロードすることもできます。さらに、今年度導入した「LoGoフォーム」において、オンライン決済機能を追加するとともに、住民向けの申請フォームを重点的に拡充していく予定となっている。

また、タブレット端末等を活用した「スマート窓口」の実現により、住民の利便性を向上させるとともに、業務効率化による職員の負担軽減を目指す。



窓口での手数料支払いを
キャッシュレス化



スマート窓口
窓口業務の負担軽減



LoGoフォームでの申請を
さらに拡充

7. 太地町

※ご欠席につき担当プロデューサー代読

R6年度DXの取り組みと成果

- ① 庁内施設予約の一部をグループウェアに切替
- ② オープンデータを推進
- ③ 既存ファイルサーバーの整理に着手

今年度は、よろず相談でのアドバイスを受け、お金をかけずにできる取組を意識し、小さなことから事業着手しました。

今年度に住民向けアンケート調査を実施したので、アンケートの設問設計時にWell-Being指標を取り入れることとし、結果を比較できるようデジタル庁Well-Being指標サイトにアップロードしました。

よろず相談を活用した取り組みと成果

- ① 既存グループウェアにおいて、庁内施設予約を実装
- ② デジタル庁Well-Being指標サイトにアンケート結果をアップロード＝オープンデータ化

次年度の取り組み予定

- ① データ保存時のルールづくり
- ② 既存ファイルサーバーの整理

来年の目玉事業は、データの整理及びルールづくりです。人事異動の際に前任のデータがファイルサーバー上のどこにあるかわからないため、データを探すのに時間を要する課題がありました。地道な作業となりますが、次年度はその課題の解消に各課連携で動きます。

課またぎ連携が
必須

データ整理により
業務効率化

データ検索の
ストレスからの開放

8. 古座川町

※オンライン

R6年度DXの取り組みと成果

- ① スモールステップでのDX推進
- ② 情報発信におけるDX検討
- ③ 防災行政無線のデジタル化

身の回りのできることを中心にDXに取り組みました。
また、当町の大きな事業としては防災行政無線のデジタル化を進めており、来年度の完成を目指しています。



名前

- 平成31年 告示文書
- 令和2年 告示文書
- 令和4年 告示文書
- 令和5年 告示文書

よろず相談を活用した取り組みと成果（上記と対応）

- ① 事例紹介による情報収集、町長へのDX意識づけ
- ② 若手職員WGとの意見交換



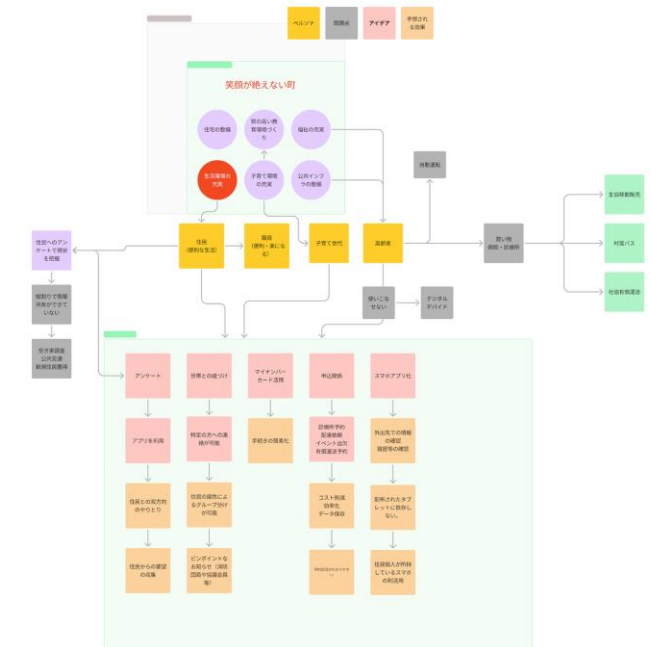
9. 北山村

R6年度DXの取り組みと成果

①県境を超えた三村合同研修

②DX事業の原案作成

今年度は、職員のDXに対する理解を深め、組織全体で事業を推進するための基盤を築きます。また、作成したDX事業の原案を基に次年度にブラッシュアップを図ります。



よろず相談を活用した取り組みと成果(上記と対応)



- ①同規模自治体によるDX推進における問題の共有
- ②原案の作成及び推進体制の構築

次年度の取り組み予定

①三村連携の更なる拡充

②原案を基にしたDX事業の実現

今年度の研修などで学んだ内容を活かし、作成した原案をさらに実用的なものにしていきます。また、引き続き県をまたいだ合同研修も続けていく予定です。



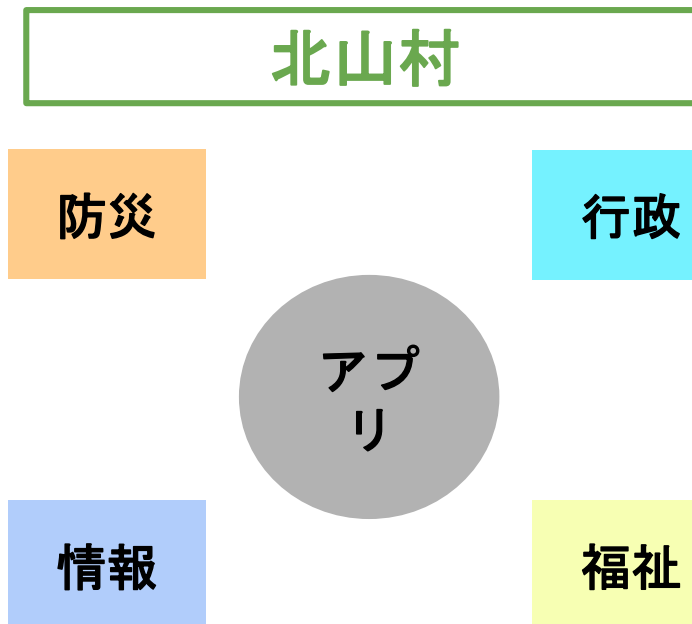
近い環境だからこそ
同じ悩み



DXだけに限らず
幅広い連携



行政サービスの集約
アプリ化



10. 串本町

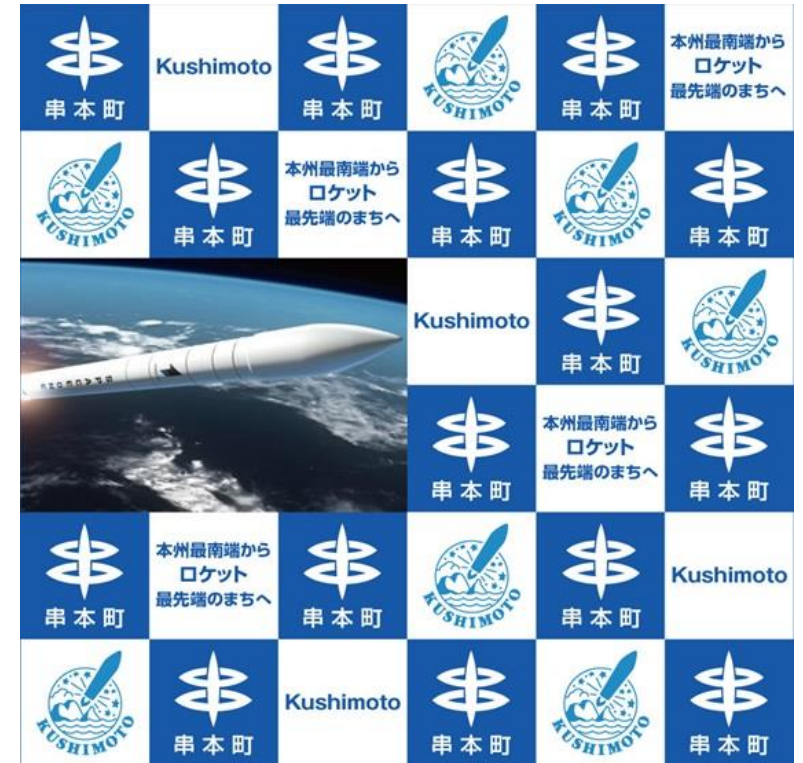
※オンライン

R6年度DXの取り組みと成果

- ①職員研修実施
- ②業務改善案募集
- ③有志職員によるDX推進会議(仮)

今年度は、地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業を活用し、御坊市中村様に登壇いただき、DXの必要性を町長・副町長含め「腹落ち(心から納得している状態)」してもらう事ができました。

串本町



よろず相談を活用した取り組みと成果(上記と対応)

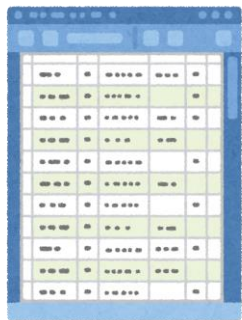
- ①地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業をご紹介いただき実施

次年度の取り組み予定

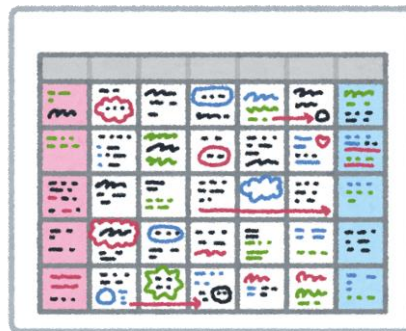
- ①DX推進会議(仮)の継続
- ②業務改善案募集の継続
- ③業務改善案募集への具体的な対応



現在月1回を目途に開催しているDX推進会議(仮)及び改善案募集の継続と、業務改善案を具体的に実現していきたいと考えています。



死亡届提出後各課等情報共有による業務改善



福祉課管轄町内施設予約管理業務改善



窓口手数料の電子決済導入

